様式３（2020.08改）

作成日　令和　3年　11月　18日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000010
事業所名	元町グルーホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。町内の清掃や地域運動会、奉納花火などに入居者と一緒に参加して交流を深めたり、地域の喫茶店や銀行の利用、小学生のホーム交流会や運動会、学芸会に招待されたり、地域のボランティアも積極的に受け入れているが、コロナ禍により踏み止まっている。。ホーム交流会を長年継続している小学生から今年も、入居者へ励ましの寄せ書きが届けられ、入居者の感謝の気持ちを込めたお礼の作品を届け、さらに深い絆となっている。感染予防のため、公民館に場所を移した多世代カフェに参加し懐かしい再会となっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	新型コロナウイルスの影響により書面開催とし家族、自治会長、民生委員、地域住民、地域包括支援センター職員に議事録を郵送している。年6回開催の内、1回は家族会と合同で開催し多くの家族の参加を得ているが、中止としている。事業所の運営状況や活動内容、活動予定、生活の様子などを報告し、職員会議などで協議しサービスの向上に活かしている。ミニ勉強会や災害時の対応についての意見交換などテーマを決めて毎回実施している。新型コロナの感染状況を確認しながら、来年4月を目指して準備をしていく心積もりにしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	新型コロナウイルスの影響で介護保険更新の手続きや申請書類、運営推進会議録などは郵送にしている。市の担当者とは電話やメールで情報交換をしたり入所事例などで指導や助言を得るなど良好な協力関係を築いている。認知症啓発イベントの「RAN伴」の参加内容を検討し、今までとは異なる方法で開催する案も考えている。地域包括主催で「校区の行方不明者捜索訓練」の実施にあたり、事業所として離設防止マニュアルや離設時捜索マニュアルを作成して積極的に協力し、継続的な関係性を築いている。職員向けのリモート研修受講や研修への講師としての派遣、市主催の共同作品展への出展など協力や連携を深めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、意見や要望などは、記録して職員で情報を共有し運営に反映させている。家族からは、面会時や家族を招いての食事会、模擬避難訓練などの行事の折に意見や要望を聴取していたが、コロナ禍で留まっている。意見箱を設置してケアや業務改善に役立てている。「元町GH笑顔便り」を発行し、入居者の日ごろの様子を記載して家族に安心を届けている。介護計画などについての閲覧システムを導入し、家族から好評を得ている。24時間訪問が可能でいつでも訪問しやすい環境や雰囲気づくりをしていたが、現状は面会の方法の規制はあるが状況に応じて流動的に実施している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

運営推進会議については、新型コロナウイルスの影響で書面での開催としている。今後、状況を確認しながら再開の予定をしている。面会はマスク着用で玄関先のガラス越し、電話やリモート面会、タブレットや携帯など家族が対応できる方法で実施している。ホームに根付いてきた「多世代カフェ」は公民館に場所を移し、カフェに参加して懐かしい再会となっている。外出自粛が続く中、広い庭さき散歩をしたり、花壇や菜園の手入れをしたりして四季の移ろいを感じながら外気に触れるようにしている。入居者と一緒にレクリエーションや食事作りにアイデアを取り入れたり工夫をして生活のメリハリや楽しみが持てるようにし、職員と共に楽しめる暮らしを大切にしている。コロナ禍においても、ホーム交流会を長年継続している小学生から入居者へ励ましの寄せ書きが届けられ、入居者の感謝の気持ちを込めたお礼の作品を届け、さらに深い絆となっている。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									